

【Inter BEE 2017】

INTER BEE FORUM Technical Session

「4K・8K実用放送に向けた送出設備について」実施報告

社会システム事業委員会傘下の放送システム専門委員会(委員長・東芝インフラシステムズ・小堀 理氏)では、AVC部会傘下となった今年度の活動の一環として、Inter BEE2017コンファランス、のテクニカルセッションで講演会を11月15日(水)13:00～15:00に実施しました。

4K・8K実用放送に向けた送出設備について

2018年12月放送開始予定の4K・8K衛星放送は、データレート的大幅な増加や新しい多重化方式の採用など従来の2K衛星放送と異なる方式で放送されます。この時期、放送設備の最新動向は、在京民放、NHKなどの4K・8K放送事業者以外の放送事業関係者にとっても関心が高いと考え、4K・8K実用放送に向けた送出設備に関連した講演内容を企画し、開催しました。講演項目は、放送事業者2社(NHK、BS-TBS)、設備ベンダー2社(NEC、東芝インフラシステムズ)からの4件で、実務担当者からの講演は、新放送方式の課題に対する取り組みや最新の開発・整備状況などホットな内容が紹介されました。聴講の事前申し込みは、定員160名のところ250名を超える登録があり、当日は173名が来場し立ち見ができる程盛況でした。また、聴講者のプロフィールの内訳は、放送事業者28%、放送機器メーカー28%、通信業者・コンテンツ配信など9%、映像制作・コンテンツ制作9%、CATV関連6%、その他(官公庁、団体、商社、メーカーなど)20%で、放送事業者・放送機器メーカー以外の業種からの聴講者も多く、広く関心が持たれていることがうかがわれました。

このテクニカルセッションでの講演会は、当初の目標を達成するとともに4K・8K最新機器の展示やNHK/

JEITAブースの4K・8K実用放送への訴求展示と相俟って大変有意義なものとなりました。



梅津 圭一氏



花田 彰氏



羽下 修氏



長石 敦氏



プログラム



会場風景